

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2311116	提出日	令和 7年 1月 17日
学生氏名	栗生 紗希帆		
論文題目	ボディイメージ認識の理想の定量化および摂食障害テキストの日韓比較		
要旨			
<p>日本における若年女性の過度なやせ願望や無理なダイエットは深刻な社会問題であり、成年女性のやせの割合は先進国で最上位である。この背景には、理想的なボディイメージの過度な追求があると考えられる。こうしたやせ願望の問題は、日本にとどまらず他の東アジア諸国でも共通して観察される。特に日本と韓国は、先進国の中で肥満率が最も低く、過度なやせが摂食障害を引き起こすリスクが指摘されている。本研究では、まず日本を対象にクラウドソーシングを用いて、年代・性別・職業ごとに理想のBMIを調査した。さらに、理想BMIに到達後も、理想を更新し続けるという仮説をたて、現在の若年女性が、どのようなボディイメージに至るかを定量的に検証した。次に、こうした日本での調査結果を踏まえ、類似した社会問題を抱える韓国を加えて比較研究した。日本と韓国のソーシャルメディア上の摂食障害およびダイエット関連のテキストを収集・分類し、文化間の言語的特徴の差異を調査した。理想のボディイメージに関する定量的検証と摂食障害の日韓比較を通じて、やせ願望と摂食障害に対する新たな可能性を示す。</p>			